学校番号	3032B

令和８年度　　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	(学)実用の書Ｂ	単位数	1	年次	2･3年次後期
使用教科書							
副教材等	最新ペン字実務（日本書写教育研究会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活のさまざまな場面で，文字を「美しく書く」「楽しんで書く」ための知識・技法を身につけます。

毛筆では，漢字（行書）の学習を通して，連続する文字の躍動感，字形の整え方，字間のとり方などを学びます。作品制作も行います。硬筆では，いろいろな書式について学びます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の 文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，書の表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	漢字の書（行書）	行書の基本的な書き方 ①動きの特徴 ②形の特徴 行書で名句を書く 行書作品の制作(一字書，書き初め等)	a:用具，用材の特徴と表現効果との関わり，書体と用筆・運筆との関わりなどについて，書の創造的活動を通して理解を深めている。(知識) a:行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、普遍性のある表現の技能を身につけ表している。(技能) b: 生活や社会における書の効用について考え，行書のよさや美しさを味わって捉えている。 b:用筆・運筆，字形，全体の構成等，意図に基づいて創造的に構想し，表現を工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート ワークシート 授業観察
	漢字仮名交じりの書	・行書に調和する仮名(とりなく歌等) ・行の整え方(配列)や文字の大きさ，全体の調和 ・行書に仮名を交えて書く(俳句を短冊やいろいろな紙に書く) ・日常の書(手紙，届け出書等)	A 用具，用材の特徴と表現効果との関わりや書の表現と用筆・運筆との関わり等について書の創造的活動を通して理解を深めている (知識) a:目的や用途に即した効果的な表現や漢字と仮名の調和した線質による表現等，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ表している。(技能) b:紙面構成による表現の違いを理解し，書のよさや美しさを感じとっている。 b:自己の表現のねらいを達成するために表現意欲を高め，用具，用材，線質，字形，全体の構成等について工夫している。 c:漢字仮名交じりの書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート ワークシート 授業観察